



NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会

MANO a MANO

～「mano a mano」とはスペイン語で「手から手へ」という意味です～

会員総数 806 人

医 師 159 人

コメディカル 647 人

【管理栄養士紹介登録数 44人】

平成21年10月20日現在

《目 次》

「顔の見えるネットワークの重要性」井上 岳先生	Page 1
研究会の実施報告	Page 2
研究会の実施報告	Page 3
研究会のお知らせ	Page 3、4

顔の見えるネットワークの重要性 ～西東京で学んだこと～

当研究会理事 北里大学薬学部薬物治療学Ⅲ／北里研究所病院薬剤部 井上 岳

小生が勤務する病院は港区にありますが、区部にはまだ多職種が一同に集まる連携はありません。しかし、著名な先生方が企画する勉強会は区部でも多く開催されています。

しかし、西東京地域では、医師のみならず医療スタッフの連携が数多くあり、特に多職種が一同に集まる連携が際立っている特徴があります。そのため、勉強会も多く開催されており、他の医療機関のスタッフとの交流（顔の見えるネットワーク）の機会も多いと感じています。そして、これらの交流から様々なことを学び、交流を深めることで自身の原動力にもなっています。これを御覧になっている方々の中には、あまり実感が湧かない方々もおられると思いますが、これらは小生が都内に転職してから初めて理解でき、また日々実感していることでもあります。都内に勤務して感じることは、近隣の医療機関に勤務する他職種のスタッフとの交流の場が非常に少ないという点です。では、他職種のスタッフとの交流は、なぜ重要なのでしょうか。以前は自身のスキルアップにとっても必要だと考えていましたが、実はそれだけではなく、勤務する施設の世代交代のみならず糖尿病非専門施設のスタッフも視野に入れた人材育成に必要だと考えています。他職種という視点で考えた時、解決すべき問題が発生した場合、“看護師の問題は看護師で”、“薬剤師の問題は薬剤師が”、という考えだけでは、受け身の姿勢（守りの姿勢）のみが重要視されやすくなると思います。これは決して悪いことではありませんが、自身の職種だけを考える傾向があり、チーム医療が基本である糖尿病治療において、他職種の意見が、解決の糸口になると感じています。

そこで、小生がこれから進めていきたい他の医療機関のスタッフとの交流（顔の見えるネットワーク）を通じ、一次医療圏における人材育成の試み（進行中）について少しだけご紹介します。港区では糖尿病地域医療連携として“みなとDM連携（平成21年6月発足）”があります。この連携は、東京都港区医師会ならびに港区の糖尿病専門病院（北里大学北里研究所病院、東京都済生会中央病院、東京慈恵会医科大学付属病院、虎の門病院、せんぼ東京高輪病院、国際医療福祉大学三田病院）が中心となり、地域全体で糖尿病患者をフォローするための病診連携です。西東京で培った経験をもとに、人材育成に必須である医療スタッフ同士の連携を構築するために、まずは港区医師会の先生方を始め“みなとDM連携”の世話人の先生方へ、少しずつご説明をしているところです。そう簡単に進むとは考えておりませんが、まずは、港区の糖尿病専門病院における医療スタッフ間のネットワークを構築しながら、指導内容の確認および標準化を進め、さらには、糖尿病専門病院の糖尿病療養指導士が、輪番制で実際に糖尿病非専門施設などへ出向いて“療養技術のレクチャー”や“医師会主催の勉強会”などへの講師派遣を実施したいと考えています。その中で、今まで会ったことのない医療スタッフとの交流の場を提供できればと試行錯誤しています。

また、進展がありましたら、皆様へご報告できればと考えます。

第3回西東京運動指導スキルアップセミナー

平成21年9月26日(土)～27日(日) 高尾の森わくわくビレッジで開催されました



当会副理事長 東京医科大学八王子医療センター 植木 彬夫
「西東京運動指導スキルアップセミナー」は9月26日27日の1泊2日で「高尾の森わくわくヴィレッジ」において42名が参加して行われた。最初に愛知学院大学の佐藤佑造先生の「運動療法 一過去、現在、未来」の中で、これからますます運動療法の確立を図る必要がある、そのためには運動指導の出来るスタッフを育てることが重要であるとの講演をいただいた。その後、6班に分かれ、各班に世話人やタスクホースが加わり、個々の患者に沿った運動療法プログラムを作成するためのグループワークを行った。運動療法の指導のためには指導者自らが、運動の三要素である有酸素運動、筋調整運動、筋抵抗運動を体験することが必要であるとのコンセプトの下に天川淑宏、小池日登美、原純也の健康運動指導士の資格を持った世話人から、合計8時間のさまざまな運動実技の指導があった。植木彬夫代表世話人より、運動プログラム作成には患者背景の環境要因や内部要因のなかから運動療法のネガティブファクターやポジティブファクターを抽出し、アセスメントを行い、運動の質と量（メッツとエクササイズ）の概念に基づいた行動目標を作成し、その達成のための実行可能な方策を作成する「運動プログラム」の説明があった。また西村一弘世話人からは運動療法におけるメディカルチェックの重要性と1型糖尿病の母親の思いを、井上岳世話人からは薬物療法を行っている患者の運動における注意の講義を受けた。こうして

2日間にわたるグループワークで、模擬症例に対する理論的システマチックな運動プログラム作成の構築を行った。できあがった運動プログラムは、実践指導をおこなうロールプレイとともに各班からの発表があった。朝6時から4kmのノルディックウォークも天候に恵まれ、全員参加で無事終了した。今回のセミナーで行われた運動プログラムの作成の方法は今後の運動療法の重要な方向性を示すものと思われた。



第10回 西東京糖尿病療養指導士養成講座が開講されました

平成20年9月15日（火）「立川市女性総合センターアイム」において開講されました。

平成21年9月15日（火）立川市女性総合センターアイムにおいて今年で10回目となる西東京糖尿病療養指導士養成講座が開講されました。12月1日までの3ヶ月間で13回にわたり講座が開かれます。会場では西東京糖尿病療養指導士の資格取得を目指す受講生の皆さんが、講師の先生方の講義に熱心に聞き入り、受講生の方々の熱気にあふれていました。



研究会他のお知らせ

世界糖尿病デー world diabetes day

『ブルーライトアップ スカイトワー西東京～糖尿病を知ろう～』
～世界糖尿病デーにスカイトワー西東京がブルーにライトアップされます～

今年も世界糖尿病デー11月14日（土）に、日本各地でイベントとして主要な建物等にブルーライトアップが行われます。

当会では株式会社田無タワー、ノボノルディスクファーマ株式会社との共催により昨年に引き続き「スカイトワー西東京」のブルーライトアップを行います。

今年は「糖尿病を知ろう」というテーマで市民向け講座も開かれ、講座終了後18時よりブルーライトアップイベント点灯式が行われます。

日 時：2009年11月14日（土）
16：00～18：00（開場15：30）

場 所：スカイトワー西東京

特別公演：「糖尿病って何？」 西東京中央総合病院 吉武 紀子先生
「栄養情報のウラオモテー食事を見直すチャンスですー」

緑風荘病院 西村 一弘先生

ブルーライトアップイベント 点灯式（18：00～）

申し込み：参加には事前申し込みが必要です。

同封のお申込書にご記入のうえFAXにてお申し込みください。

FAX番号：042-322-7478

世界糖尿病デーイベントについての情報は各ホームページを御覧下さい。

西東京スカイトワー <http://www.skytower195.com/>

世界糖尿病デー公式ホームページ <http://www.wddj.jp/>





研究会他のお知らせ



直接事業



間接事業

◆ 第14回糖尿病療養担当者のためのセミナー (お申し込みが必要です。)

開催日：平成21年11月3日(火) 9:50~18:00

場所：多摩永山情報教育センター(京王線または小田急線永山駅下車徒歩3分)

会費：5000円(昼食代込み)

申込み：当会ホームページより申込用紙をダウンロードのうえ、FAXにて申し込みください。

FAX番号：03-3470-8209 日本イーライリリー(株)担当：基常

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：5単位

☆日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<2群>1単位申請中

糖尿病診療一最近の動向(医師・コメディカル向け研修会) (お申し込みが必要です。)

開催日：平成21年11月8日(日)

場所：国立国際医療センター戸山病院 研修棟5階 大会議場

会費：無料

申込み：「糖尿病ネットワークホームページ」にてオンライン申込みまたは申込書の

ダウンロードが可能です。<http://www.dm-net.co.jp/event/staff/008076.php>

※詳細は国立国際医療センターホームページをご覧ください。

<http://www.imcj.go.jp/index.html>

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：7単位

◆ NPO法人西東京臨床糖尿病研究会第46回例会(お申し込みは不要です。)

開催日：平成21年11月21日(土) 13:00~16:30

場所：西東京市民会館・公会堂(西武新宿線田無駅下車徒歩8分)

会費：会員無料 一般：1000円

テーマ：糖尿病と感染症—その実態と対応策—

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：7単位

☆日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<2群>1単位申請中

◆ 第6回西東京糖尿病心理と医療研究会ワークショップ (お申し込みが必要です。)

開催日：平成21年11月28日(土) 18:00~

11月29日(日) 12:30(1泊2日)

場所：多摩永山情報教育センター(京王線または小田急線永山駅下車徒歩3分)

会費：医師14,000円、コメディカル12,000円(シングル宿泊、夕食、朝食代込み)

定員：60名

申込み：当会ホームページより申込用紙をダウンロードのうえ、FAXにて申し込みください。

FAX番号：042-362-1602

ノボルディスクファーマ(株) 担当：井上・坂本

※申込締切：11月7日(土) 参加費のお振込みが確認でき次第申込受付とさせていただきますのでご了承下さい。

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：10単位

NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会 事務局

〒185-0012 国分寺市本町3-10-22 リエントラサ 402

TEL: 042(322)7468 FAX: 042(322)7478

<http://www.nishitokyo-dm.net> Email: w_tokyo_dm_net@ybb.ne.jp

